

(5月3日) : 相場は明暗が分かれる

市場は今週も上下変動はありながらも横ばいで動く予想されている。証券各社は大きなボラティリティーと調整を交互に経験することになると予想している。

ホーチミン取引所のVN指数は0.45%下落し974.14ポイントで取引を終えた。

VN指数は2営業日で0.56%ほど下落した。

“VN指数は980から965-968ポイントの範囲で上下変動すると予想される。相場は週後半にかけて良くなっていくと予想され、上値の抵抗線を抜けて986-992ポイントに達する”とバオベト証券は予想した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.12%下落し、106.87ポイントで取引を終えた。

HNX指数は先週一週間で0.55%ほど下落した。

“株式は今週横ばいで動き、最近になって支持材料が表れるにつれて、セクターごとに明暗が分かれるだろうと考える。資金流入は乏しく、そのことは投資家心理が良くないことを示している。しかしながら、チャンスはいくつかの銘柄で現れている”とYuanta証券のアナリストは語った。

MBS証券の市場戦略部のリサーチャーによると、定時株主総会がもう少しで終わるが、投資家は市場を注意深く観察している。投資家は市場の見通しが不透明な時には取引に戻ってこようとはしないだろうとのことだった。

BIDV証券(BSC)は、低い流動性が示すように、投資家はさらなる支持材料を待っているようであるとのことであった。

BSCによると、米中貿易交渉の結果が5月10日に発表される予定であり、FEDの金利据え置きの話が短期、中期的な相場への材料になるであろうとされる。

ベトドラゴン証券(VDSC)はデイリーレポートの中で、出来高が少ない中で指数は下落し続けると言った。

“短期的な反発の力は弱く、南北両指数は下値の抵抗線付近まで下落する。投資家は現金と株式の比率を維持し、次のトレンドがはっきりするまで待つべきである”と VDSC は報じた。

流動性は依然として低く、投資家が相場の見通しに不透明なため、取引に参加しようとしないうことを示している。

出来高は 1 億 7880 万株で、売買代金は 3.7 兆ドン (1 億 5600 万ドル) ほどであった。

サイゴンハノイ証券 (SHS) によると、休暇明けに、2 営業日のみ経過しただけなため、投資家は市場に戻る準備ができていないとのことであった。

流動性は過去 20 営業日の平均より低くなっていると SHS は語った。

保険業界指数が最も値下がりし、5.1%ほど下落した。

バオベトホールディングス (BVH) はストップ安の 6.9%まで下落、先週二日で 13.9% 下落したことになった。

石油ガスセクターも下落したセクターの一つだった。ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナムドリリング (PVD) はどちらも 1%以上下落した。

飲食料と証券セクターが上昇した。ビナミルク (VNM)、マッサングループ (MSN)、SSI 証券 (SSI)、ホーチミン市証券 (HCM) は上昇し、相場の下げ幅を縮小させた。

銀行グループは上下まちまちだった。ベトコムバンク (VCB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG) は下落したが、サコムバンク (STB)、テクコムバンク (TCB)、軍隊商業銀行 (MBB) などは上昇した。

バオベト証券によると、2019 年第一四半期の決算結果について、444 企業が決算結果を発表した。

利益成長の伸びが大きかったセクターは小売り (23.34%)、情報技術 (22.86%)、銀行 (11.31%) などであった。

小売りでは、モバイルワールドインベストメント (MWG) は 28.86%の大きな利益成長を達成し、情報技術では、FPT グループ (FPT) が 23.04%の伸びを記録した。

現在まで、12の銀行が第一四半期の決算を発表しているが、8行が成長を記録し、4行のみが下落している。

大きく利益が伸びた銀行は、ベトコムバンク（VCB）（34.34%）、サイゴンハノイ銀行（SHB）（47.74%）、TPバンク（TPB）（33.04%）、軍隊商業銀行（MBB）（24.77%）、アジアコマーシャル銀行（ACB）（19.34%）であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。